

発行：令和5年8月1日

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日



明日の地球を考える企業
Umeda Clean Kogyo
2021 COMPANY ENVIRONMENT REPORT

梅田クリーン工業株式会社

も く じ

1	環境経営方針	2
1	1 基本理念	
2	2 環境経営指針	
2	会社概要・取組の対象範囲	2
1	1 会社概要	
2	2 認証・登録の対象範囲(組織・活動)	
3	組織図・実施体制	3
1	1 組織図	
2	2 実施体制	
4	令和4年年度及び中期 環境経営目標と実績その結果	4
5	令和4年度環境経営計画	5
6	令和4年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果	6
7	取扱廃棄物許可品目	9
1	1 産業廃棄物及び一般廃棄物に関する許可品目	
2	2 特別管理産業廃棄物に関する許可品目	
8	業の許可・取得技術者・所有車両一覧	11
9	環境関連法規等の遵守状況のチェック	12
10	外部からの苦情などの受付結果	12
11	次年度の取組について	
12	代表者による全体の取組状況の評価および見直し	12
1	1 評価	
2	2 見直し	
13	私たちの取り組み	13



1.環境経営方針

1-1 基本理念

私たちは、地球環境保全・循環型社会形成のために環境負荷を削減する取組みに積極的に参加していきます。

特に、水循環のプロとして、使用した水「小さな1滴」をきれいな大海に還すことが私たちの使命として事業活動を行います。

1-2 環境経営指針

環境理念に基づき、環境負荷の少ない事業展開を継続するために以下の行動指針を揚げ、環境目標及び活動計画を定めて、環境マネジメントを構築・運用し、環境経営の継続的改善を行います。

1. 二酸化炭素の排出削減をします。
エコドライブ及び安全な作業の工夫等により、社用車(収集運搬車)のガソリン、軽油の使用量を削減します。また、節電に努めます。
2. 廃棄物を削減します。
収集運搬時における廃棄物排出量の削減に努めます。
廃棄物の分別を継続して排出量の削減に努めます。
3. 水使用量を削減します。
節水を心がけ、水使用量を削減します。
4. 環境負荷の少ない浄化手法を排出者に提案します。
5. 事業活動に関連する環境経営関連法規や条例等を遵守します。
6. 地域社会と良好な環境コミュニケーションを図り、地域の環境保全に努めます。
7. 環境経営方針を従業員に周知し、環境保全に向けた意識の向上に努めます。
8. この環境経営方針は広く一般に公表します。

制定：平成26年3月31日

改定：令和4年3月31日

梅田グリーン工業(株)

梅田正道

2. 会社概要・取組の対象組織・活動

2-1 会社概要

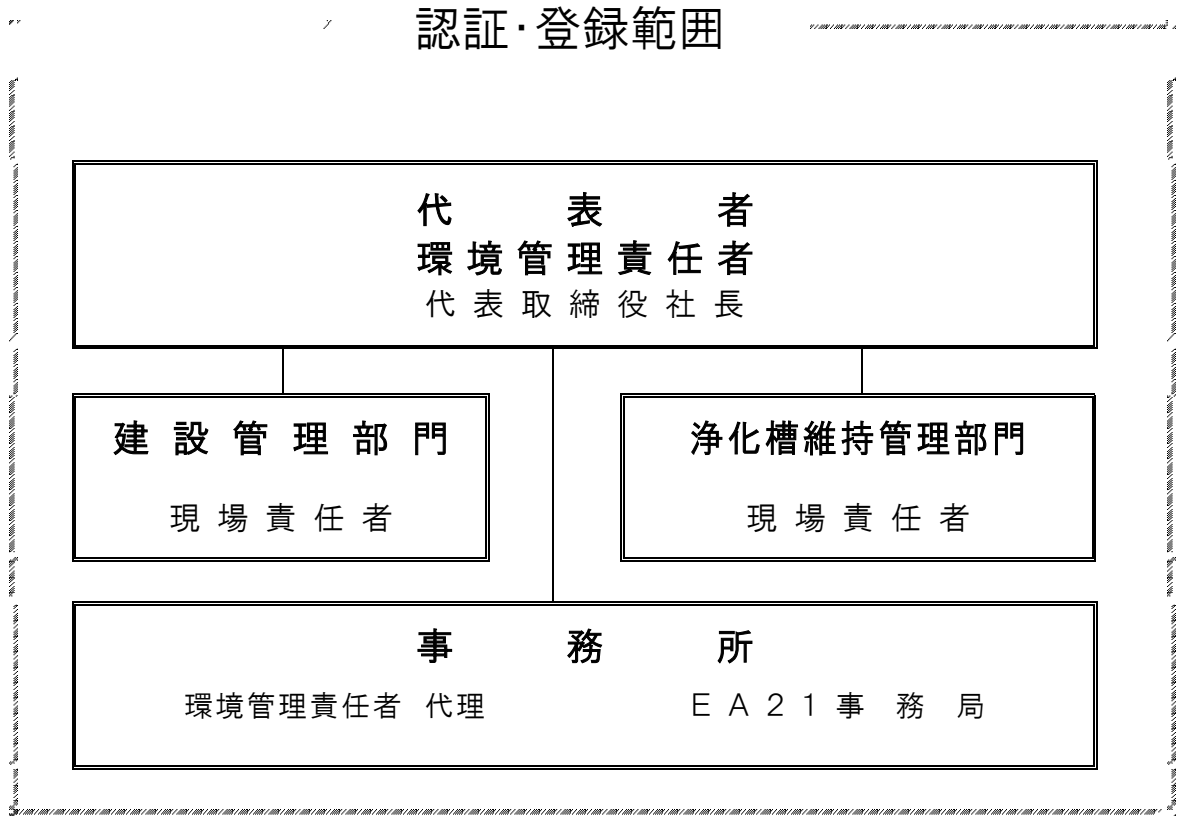
名 称	梅田クリーン工業株式会社		
代 表 者 名	代表取締役社長 梅田正道		
所 在 地	〒751-0833 山口県下関市武久町二丁目6番3号		
連 絡 先	TEL	083-252-7761	
	FAX	083-252-7763	
M a i l	umedac@almond.ocn.ne.jp		
環境管理責任者	代表取締役社長	梅田正道	
担当者氏名	代表取締役社長	梅田正道	
事業内容	<u>浄化槽管理部門</u> 浄化槽清掃維持管理業 設備排水管高圧洗浄業 工場排水処理プラント施設維持管理業		
	<u>建設部門</u> 一般土木建築工事配管工事 機械設置 上下水道設備工事業		
	<u>廃棄物収集運搬部門</u> 一般廃棄物収集運搬業 産業廃棄物収集運搬業 特別管理産業廃棄物収集運搬業		
事業規模			
会社設立	昭和62年6月19日		
資本金	1,000万円		
産業廃棄物収集運搬売上	9,869万円	(令和4年度)	
一般廃棄物収集運搬売上	4,629万円	(令和4年度)	
建設工事関係売上	1,993万円	(令和4年度)	
産業廃棄物収集運搬量	607.53t	(令和4年度)	
特別管理産業廃棄物収集運搬量	0.9 t	(令和4年度)	
一般廃棄物収集運搬量	5,889.6 t	(令和4年度)	
社員数	12人	(令和5年3月現在)	
事業年度	4月～3月		

2-2 認証・登録の対象範囲（組織・活動）

梅田クリーン工業株式会社 全組織 ・ 全活動
※建設現場事務所の設置はありませんでした。

3.組織図・実施体制

3-1 組織図



3-2 実施体制

所 属（役職）	役割・責任・権限・使命
代 表 者 環 境 管 理 責 任 者 （代表取締役社長）	全体の統括、環境方針の設定、環境への取り組みを実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
	全体の把握、環境システムを構築し、運用し、その状況を社内に周知する
E A 2 1 事 務 局	EA21 文書及び記録類の作成・維持・管理・確認
建 設 管 理 部 門 浄 化 槽 管 理 部 門	現場管理・データの確認



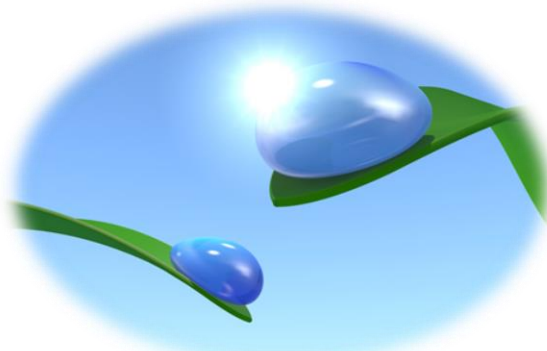
4. 令和4年度及び中期環境経営目標と実績その結果

環境目標	単位	基準年度	令和4年度 目 標	令和5年度 目 標	令和6年度 目 標	令和4年度 実 績 (削減率)	結果
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	79,455	78,661 (減 1%)	77,866 (減 2%)	77,072 (減 3%)	84,528 (増 8%)	要努力
1-1 電力使用量の削減	kWh	7,394	7,321 (減 1%)	7,247 (減 2%)	7,173 (減 3%)	7,783 (増 7%)	要努力
1-2 ガソリン使用量の削減	L	3,846	3,808 (減 1%)	3,770 (減 2%)	3,731 (減 3%)	4,082 (増 8%)	要努力
1-3 軽油使用量の削減	L	25,297	25,045 (減 1%)	24,792 (減 2%)	24,539 (減 3%)	26,943 (増 8%)	要努力
2 廃棄物総排出量の削減	kg	3,830	3,792 (減 1%)	3,754 (減 2%)	3,716 (減 3%)	5,060 (増 34%)	要努力
3 総排水量の削減	m ³	151	150 (減 1%)	148 (減 2%)	147 (減 3%)	176 (増 18%)	要努力
4 受託した(産業)廃棄物の収集運搬における環境配慮の推進	回/年	12	12	12	12	12	達成
5 環境保全についての活動	回/年	12	12	12	12	27	達成
6 濁水発生の防止(苦情発生ゼロ)	件	0	0	0	0	0	達成

(注 1.) 化学物質に係る環境目標に掲示しない理由について
 ※1.化学物質は使用がないため掲示いたしません

(注 2.) 電気事業者別二酸化炭素排出係数
 平成 28 年度中国電力株式会社の調整後排出係数 0.694 kg-CO₂/kWh を使用

(注 3.) 基準年度は、前年度から 3 年間遡った平均値とする



5.令和4年度環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		活動項目	
1-1	電気使用量の削減	1	不要な個所の照明を消す
		2	扇風機の設置で空調の適温化(冬は24度・夏は24度程度)
		3	パソコンは使用時に電源を入れ、使用後には電源を切る
燃費の向上 1-2	ガソリン使用量の削減	1	購入時は低燃費のものを検討
		2	エコドライブの実施
		3	定期的な車両の点検
1-3	軽油使用量の削減	1	燃費を計測する(手順書参照)
		2	作業効率を話し合う

2. 廃棄物総排出量の削減

購入時に優先する項目	1	使い捨て製品(容器)の購入の抑制
排出時の対応	2	ゴミの分別の徹底
	3	作業現場での廃棄物の分別・リサイクル

3. 総排水量の削減

節水活動	1	洗車時のホースノズルの使用
	2	作業車への注入は気を付ける

4. 受託した(産業)廃棄物の収集運搬における環境配慮の推進

廃棄物の適正な処理推進会議	1	会議の開催
---------------	---	-------

5. 環境保全についての活動

環境コミュニケーションの実施	1	外部との窓口の設置の明確化
	2	外部との保全活動への参加

6. 濁水発生の防止(苦情発生ゼロ)

濁水の発生を極力防止するとともに、これに関する苦情発生「ゼロ」を維持する。	1	建設現場での濁水の適切な処理の実施
---------------------------------------	---	-------------------

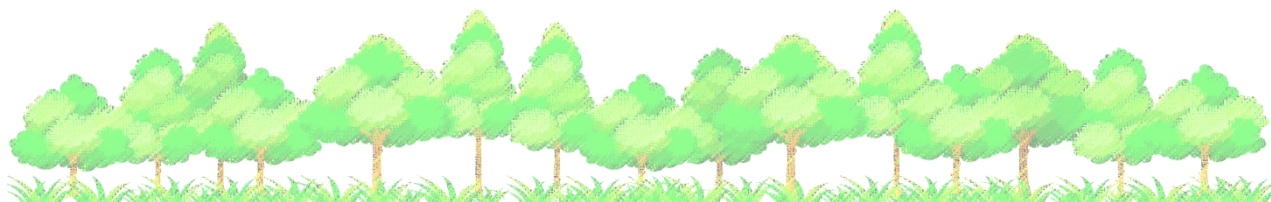
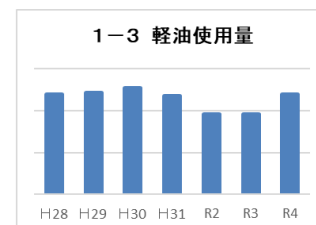
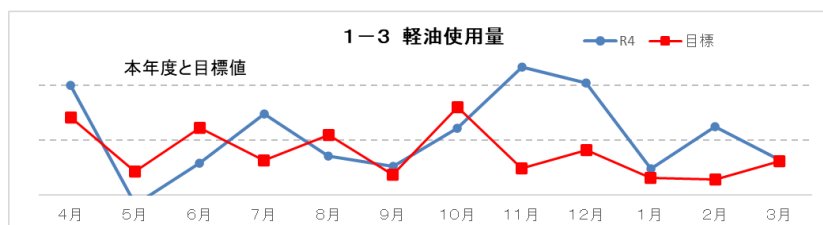
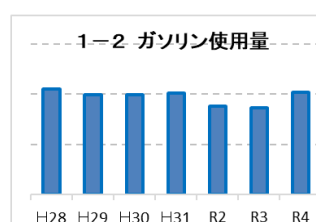
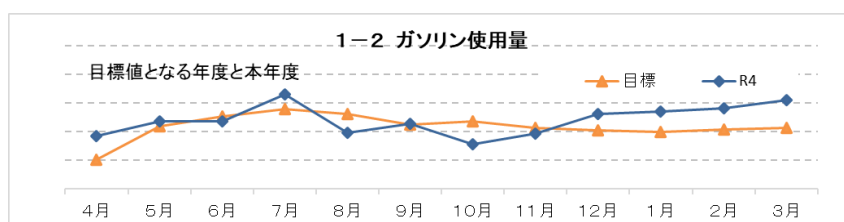
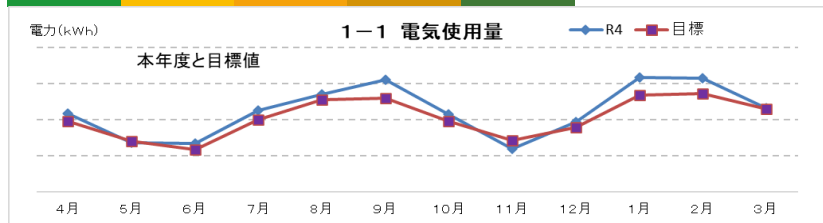
7. 騒音・振動発生の防止(苦情ゼロ)

建設騒音・振動の発生を極力防止するとともに、これに関する苦情発生「ゼロ」を維持する。	1	建設現場での低騒音型建設機材の使用
--	---	-------------------

6-1. 令和4年度環境経営目標の達成状況及び 環境経営計画の実施状況、その評価結果

1. 二酸化炭素排出量の削減

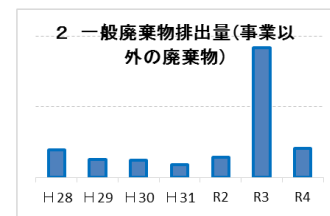
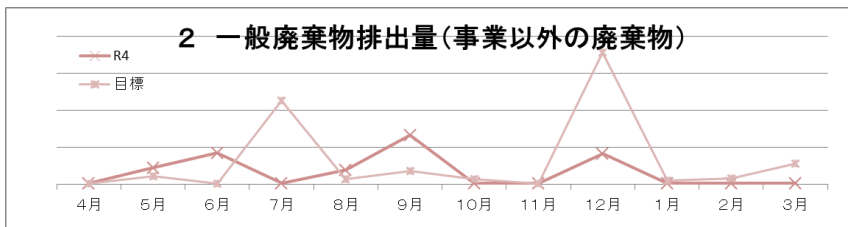
環境目標		単位	目標値	使用量実績	目標達成判定
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	79,455	84,528	要努力
1	電気使用量の削減	kWh	7,394	7,783	要努力
2	ガソリン使用量の削減	L	3,846	4,082	要努力
3	軽油使用量の削減	L	25,297	26,943	要努力
活動項目		評価			
1-1-1	不要な個所の照明を消す	環境の変化もあり、電気の主な使用であるエアコンの使用が必須で電気の使用が年々増えている。何よりも社員の健康が優先と考えています。 売上が少しずつ伸びているため、燃料使用量については、使用については、結果を伴っていると考えています。			
1-1-2	扇風機の設置で空調の適温化(冬は24度・夏は24度程度)				
1-1-3	パソコンは使用時に電源を入れ、使用後には電源を切る				
1-2-1	燃費を計測する(手順書参照)				
1-2-2	作業効率を話し合う				
1-3-1	購入時は低燃費のものを検討				
1-3-2	エコドライブの実施				
1-3-3	定期的な車両の点検				



6-2. 令和4年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果

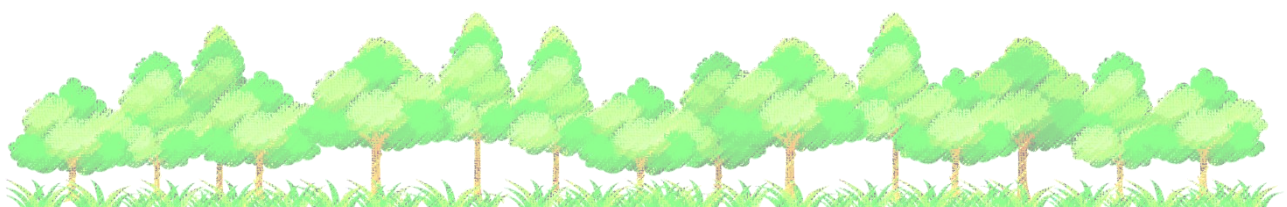
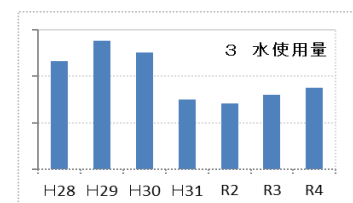
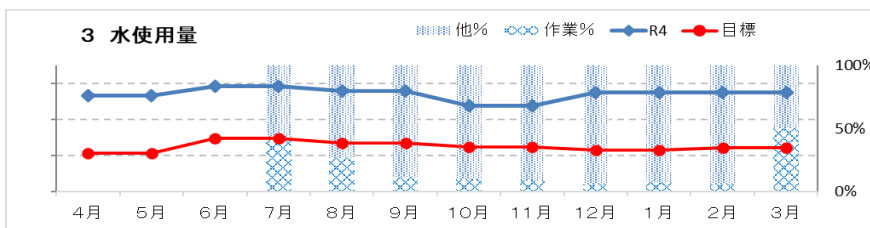
2. 廃棄物排出量の削減

環境目標		単位	目標値	排出量実績	目標達成判定
廃棄物総排出量の削減		kg	3,830	5,060	要努力
作業現場での廃棄物分別を徹底し、リサイクルに努める		kg			
活動項目		評価			
1	使い捨て製品(容器)の購入の抑制	廃棄物について、改めてルールづくり等した結果、排出量を減少することが出来た。分別などの管理についても、問題なく出来ていると思います。			
2・3	ゴミの分別・リサイクル				



3 総排出水量の削減

環境目標		単位	目標値	使用量実績	目標達成判定
1	総排出水量の削減	m ³	151	176	要努力
活動項目		評価			
1	洗車時のホースノズルの使用	作業車を使用する頻度が増えたことで、使用量も増えてしまう。節水は行っているのですが、問題はないと考えています。			
2	作業車への注入は気を付ける				



6-3令和4年度環境経営目標の達成状況及び 環境経営計画の実施状況、その評価結果

4.受託した(産業)廃棄物の収集運搬における環境配慮の推進

環境目標		単位	目標値	使用量実績	目標達成判定
環境コミュニケーションの実施		回	12	12	達成
活動項目		評価			
1	会議の開催	お客様からの言葉を始めてから、問題にならない程度の小さな苦情はありますが、大きなクレームにならないように気を付けているということなのかもしれません。これからも、続けていきたいと思えます。			



5 環境保全についての活動

環境目標		単位	目標値	使用量実績	目標達成判定
環境コミュニケーションの実施		回	12	27	達成
活動項目		評価			
1	外部との窓口の設置の明確化	ホームページ等で広報活動をしています。これからも弊社の事業が環境に係ることを発信していきたいともいます。			
2	外部の保全活動への参加				



6 濁水発生防止(苦情発生ゼロ)

7 騒音・振動発生防止(苦情発生ゼロ)

環境目標		単位	目標値	使用量実績	目標達成判定
苦情発生防止のゼロを目指す		回	0	0	達成
活動項目		評価			
6-1	建設現場での濁水の適切な処理の実施	作業を丁寧にする事で、苦情など起こることなく無事行えています。			
7-1	建設現場での低騒音型建設機材の使用				



7-1.取扱廃棄物許可品目

令和5年7月1日現在

産業廃棄物及び一般廃棄物に関する許可品目

業の種類	産業廃棄物収集運搬業			一般廃棄物収集運搬業
	山口県	福岡県	下関市	下関市
都道府県 (保健所設置市)				
許可番号	03507015863	04000015863	07510015863	31008
新規取得年月日	平成11年01月29日	平成25年08月20日	平成28年09月01日	昭和62年04月01日
許可の年月日	平成31年01月29日	平成30年08月20日	令和03年09月01日	令和04年04月01日
許可の有効年月日	令和06年01月28日	令和05年08月19日	令和08年08月31日	令和06年03月31日
積替え保管	無	無	有	無
取扱種類の合計	17	13	17	1
一般廃棄物				浄化槽汚泥
廃プラスチック類	●	●	●	
金属くず	●	●	●	
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	●		●	
ガラスくず等		●		
燃え殻		●		
汚泥	●	●	●(積替え保管含む)	
廃油	●	●	●	
廃酸	●	●	●	
廃アルカリ	●	●	●	
紙くず	●	●	●	
木くず	●	●	●	
繊維くず	●	●	●	
動植物性残さ	●	●	●	
鋳さい	●		●	
がれき類	●		●	
動物のふん尿	●		●	
動物の死体	●		●	
ばいじん	●		●	
ゴムくず	●	●	●	
積替え保管 について	(1) 所在地 : 下関市武久町二丁目6番3号にて、10tダンプカー車内に保管 (2) 種類 : 汚泥 以上1種類 (3) 保管上限 : 許可証には記載なし ※8,420L(10t ダンプカー)			

7-2.取扱廃棄物許可品目

令和5年7月1日現在

特別管理産業廃棄物に関する許可品目

業の種類	特別管理産業廃棄物収集運搬業	
	山口県	福岡県
都道府県 (保健所設置市)	山口県	福岡県
許可番号	03550015863	04050015863
新規取得年月日	令和02年10月06日	令和02年11月09日
許可の年月日	令和02年10月06日	令和02年11月09日
許可の有効年月日	令和07年10月05日	令和07年11月08日
積替え保管	無	無
取扱種類の合計	1	1
特別管理産業廃棄物の種類	<p>廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物である物を除く。)以上1種類</p>	<p>廃油 (揮発油類、灯油類及び軽油類であるもの又はトリクロロエチレン又はテトラクロロエチレン又はジクロロメタン又は四塩化炭素又は、1, 2-ジクロロメタン又は1, 1-ジクロロエチレン又はシス-1, 2-ジクロロエチレン又は1, 1, -トリクロロエタン又は1, 1, 2-トリクロロエタン又は1, 3-ジクロロプロペン又はベンゼン又は1, 4-ジオキサンを含むことにより有害なものに限る。) 以上1品目</p>



8.業の許可・取得技術者・所有車両一覧

業の許可一覧

	許可の種類	許可の認証	許可番号
1	一般廃棄物収集運搬業許可証	下関市長許可	第 3 1 0 0 8 号
2	産業廃棄物収集運搬業許可証	山口県知事許可	第 03507015863 号
3	産業廃棄物収集運搬業許可証	福岡県知事許可	第 04000015863 号
4	産業廃棄物収集運搬業許可証(積替え保管あり)	下関市長許可	第 07510015863 号
5	特別管理産業廃棄物収集運搬業	山口県知事許可	第 03550015863 号
6	特別管理産業廃棄物収集運搬業	福岡県知事許可	第 04050015863 号
7	浄化槽清掃業許可証	下関市長許可	第 3 3 0 0 8 号
8	浄化槽工事業者登録	山口県知事	(届-27)第 1094 号
9	浄化槽保守点検業者登録証	下関市長許可	第 3 4 0 0 8 号
10	下水道排水設備指定工事店証	下関市長許可	第 4 7 号
11	競争入札参加資格審査	山口県	第 0 0 2 3 3 号
12	競争入札参加資格審査	下関市	第 8 3 5 号
13	機械器具設置工事業	山口県知事許可	(般-4)第 19962 号
14	管工事業	山口県知事許可	(般-4)第 19962 号
15	水道施設工事業	山口県知事許可	(般-4)第 19962 号
16	一般建設業の許可	山口県知事許可	(般-4)第 19962 号
17	土木工事業	山口県知事許可	(般-4)第 19962 号
18	全省庁統一資格		発行番号 220208001017

取得技術一覧

取得技術一覧	取得者	取得技術一覧	取得者
産業洗浄技能士	1	酸素欠乏危険作業主任者	7
浄化槽管理士	3	危険物取扱丙4種	1
下水道処理施設管理士	2	2級管工事施工管理技士	2
し尿・汚泥再生処理施設技術管理士	2	2級土木施工管理技士	1
汚泥処理施設技術管理者	1	水質関係第二種公害防止技術管理者	1
浄化槽技術管理者	2	ガス溶接技能士	2
浄化槽設備士	1	第2種電気工事士	1
建築物排水管清掃作業従事者	2	小型移動式クレーン運転技能士	3
下関排水設備責任技術者	2	ごみ処理施設技術管理士	1
高所作業車運転技術技能講習	1	フォークリフト運転技能士	2
2級建築士	1	甲種消防管理講習	1
アーク溶接技能士	2	玉掛け	3

所有車両一覧

車種	台数	高圧洗浄車	台数
2t バキューム	1	4t バキューム	4
ダンパー	1	ダンパー小	1
軽トラ	2	軽バン	2

積替え保管施設	台数
10t バキューム	1



9.環境関連法規等の遵守状況のチェック

当社では環境関連法令(廃棄物処理法・浄化槽法等)の順守状況を確認した結果、弊社に関する環境関連法規への違反、訴訟などはありませんでした。また、関係機関などからの指摘及び指導もありませんでした。

10.外部からの苦情や要望等の受け付け結果

お客様から現場で要望を聞き、即座の対応を工夫し期待に込めていると思います。顧客満足であることも大切ですが、それが仕事のやりがいにつながることも大切と考えています。「お客様からの言葉」を作成し会議で、社内周知しモチベーションにつなげています。

11.次年度の取組について

環境経営方針・目標等は継続して取り組みます。

水の使用量について、社内から作業用と普段使いと分けて計ってみる提案がありましたので、テスト的に行います。節水の習慣はあると思うので、使用量が増えたことは、その作業が増えたということで、数値目標が達成されていなくても、結果売上げにつながっている確認が出来ると考えています。

12.代表者による

全体の取組状況の評価および見直し・指示

12-1. 見直し

コスト面に関して、長年のデータを見て、もう少し細分化したマネジメントを検討していきたいと思います。ゆっくりかもしれませんが、毎年少しずつマネジメント体制が進んでいると思います。

12-2. 指示

次年度の取組として、水使用量についての細分化したデータ取りを行います。手作業になるので、声を掛け合い忘れないように気を付けるように全員で意識して取り組みます。

13.私たちの取り組み

1.エコアクション21の認定

エコアクション21の承認を受けたことにより、今までの環境配慮に加えて全社員共有し、組織的な取り組みを実施しています。

2.日常私たちが心掛けていること

私たちは、5Sの実施で敷地内の整理・整頓・清掃・清潔・躰を実施しています。そして、お客様への親切丁寧な対応を心がけています

3.SDGsの実践

弊社では、SDGs(持続可能な開発目標)を踏まえ、地域の持続的な成長を実現するため、15の目標をきっかけ地域の社会・環境課題に取り組んでいくことを宣言します。



®環境省

エコアクション21

認証番号 0010349



<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任つかう責任</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナリープで目標を達成しよう</p>	





明日の地球の水を考える企業



<https://www.umedacleankogyo.com/>

お問い合わせ 083-252-7761



梅田クリーン工業株式会社